

報告日 令和7年3月6日					
報告回次 2日目					
令和6年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書					
地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。					
記					
1. 申請団体情報					
1-1. 申請団体					
団体名	長岡市			代表者名	小林 秀年
担当者部署(属性)	情シス担当	担当者部署名	DX推進部	連絡先電話番号	0258-39-2205
担当者役職	主事	担当者氏名	穂満 歩夢	連絡先E-mail	
住所	940-0084 新潟県長岡市大手通1丁目4番10				
1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）					
団体名			連絡先部署		
担当者氏名			連絡先電話番号	連絡先E-mail	
1-3. 支援を求める内容					
支援方法	職員向け啓発・研修（単独）	事業名（予定）	DX人材育成事業		
概要	①下呂市における事例を踏まえたDX推進に関するアドバイス ②DX人材育成のためのDX推進に関する研修の実施				
支援を求める分野	人材（DX推進のための機運の醸成） 人材（DXに関する知識習得・研修・育成）				
2. 地域情報化アドバイザー派遣実績					
2-1. 対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	無				
	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和7年2月27日	講演(実地)	10時00分	16時00分	60
				活動時間（分）	300
2-2. 派遣場所	会場名	アオーレ長岡		最寄駅	長岡駅
	所在地	新潟県長岡市大手通1丁目4番10		最寄駅からの交通手段	徒歩
3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望					
支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。					
アドバイザー	長尾 飛鳥				
評価	大変よい				
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	自治体職員としての実務経験に基づいた説得力のある講義により、DX推進は単なる電子化やツール導入ではなく、業務の見直しと削減が本質であると理解し、DXに対する認識が大きく変化しました。特に、受講者の多くが「小さなことから始める」という前向きな姿勢を持ち、業務に生かそうとする意識の変化を見せたことや、「まず行動することが大事」という学びを得たことで、デジタルよりも「X（変革）」が重要であるという意識改革を促す研修の目的を、十分に達成することができました。また、参加者が研修に主体的に参加しやすい環境を整えるため、Slido（匿名の発言ツール）の活用やBGMの導入などの工夫がなされたことで、ワークショップでは活発な議論が交わされ、普段業務で関わらない職員同士の交流が図られました。				
アドバイザーへの要望事項	特にありません。				
4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果					
4-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】		合計人数	61人	
	属性	自治体職員	住民	企業・団体	その他(学生など)
	人数	61			
4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果					
事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	当市では令和5年度よりDX推進部を設置し、自治体DXの推進を全庁的に取り組んでいます。今後もDXを着実に推進していくため、前例にとらわれず業務の課題に取り組む職員の意識を高めることを第一の課題とし、特に業務改善の意欲が高い職員を中心に、意識改革を図る必要があると考えています。				
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	下呂市の事例を知ることで、職員が業務改善への期待感や成功イメージを持ち、デジタルツールの具体的な活用方法を模索する。				

アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	ご自身の経験を基に、DX推進に主体的に取り組むためのマインドを醸成する研修を実施 ・講義＋ワークショップ(2時間) ・DX推進のための業務相談(3時間)	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	各所属にDX推進担当者を1名ずつ任命したものの、DXによる業務改善の取り組みには結びついていなかったが、本研修を通じて、身近な業務の小さな改善から始める重要性を理解し、各自が具体的な取組目標を設定することができた。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	特にありません。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 添付資料1	
4-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	④予算以外で、今後取組む事項がある 研修で培った業務改善意識を定着させ、実務に活かすために、職場内での定期的な振り返りや情報共有の仕組みを整え、継続的なフォローアップを行う。
4-4. 事業の最終的な目指す姿	現場職員がDX推進に前向きな姿勢を持ち、自ら課題を発見し、業務改善に積極的に取り組むことで、業務の効率化を図るとともに、住民ニーズに応じた解決策を提案・実行できる体制を確立する。	

5.報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可 ☐ 掲載可

https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/

なおくその他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

